



Mus

vol.209

2009 December

発行/学校法人 大阪音楽大学

編集/広報誌編集室

〒561-8555 豊中市庄内幸町1-1-8

TEL/06-6334-2131 FAX/06-6334-2141

URL <http://daion.ac.jp>

発行日/2009年12月21日



大学祭の目玉の一つ、学生と教員、卒業生によるロックバンド。かぶりものをしてステージを盛り上げた
(2009年10月31日、本学中庭)

2015年 楽 創立100周年

CONTENTS

中村孝義学長を再選/姉妹校提携推進で海外来訪者相次ぐ2

20世紀オペラ「火刑台上のジャンヌ・ダルク」/大学第52回定期演奏会 ほか10・11

- 片岡リサ、菊武厚詞、大野一道の3講師が海外公演3
- 1月 2月 3月 学校法人大阪音楽大学の催し4
- オペラハウスの催し/College Information5
- オペラ物知り講座/はびきの市民講座聴講記⑦6
- 連載「校史点描」<10>社会奉仕活動7
- 独の合唱団特別演奏会/オータム・コンサート/新作品展8
- ピアノ・グラッド・コンサートなど5つのコンサート9
- キダ・タロー氏ら4氏が特別講義12

- M.アリニョン&ジャン＝ルイ・ルネ特別講義/公開講座フェスタ13
- 小野ひとみ氏特別授業/本学が防犯功労者表彰される14
- 卒業生が舞台支え川西で創作ミュージカル15
- 入試ナビ/矢野蓉子・幸楽会会長と教え子が台湾で演奏16
- 音楽・心の旅23/音楽の宝石箱17
- 永井和子名誉教授に神戸市文化賞/コンクール入賞 ほか18
- 幸楽会後援演奏会/大阪音楽大学後援演奏会19
- 大学祭/若い芽のコンサート/ミレニアムホール特別講座20

中村孝義学長を再選



再選された
中村孝義学長

大阪音楽大学と同短期大学部は11月30日、任期満了に伴う学長選挙で、中村孝義現学長（61）＝音楽学Ⅱを再選しました。任期は10年4月から2年です。

中村学長は選挙にあたって所信を次のように述べています。

06年に学長に就任した時も、すでに本学を取り巻く環境は、あらゆる面にわたって非常に厳しいものでした。加えて昨年のリーマン・ショックが生み出したわが国の経済環境の悪化は、

近年われわれが経験したことがないほどの厳しさであり、18歳人口の減少とも相俟って、本学のようにコストがかかる音楽大学にとって予断を許さない状況を生んでいます。こうした状況下において本学が今なすべきことはただ一つ。つまりそれは、

誰もが認める音楽大学としての《大学力》をより高めること以外にありません。

音楽大学としての《大学力》とは何かと問われれば、私は次の四つに集約できると考えています。

所信

《大学力》さらに高める

第一に、学生に音楽を始めとしてあらゆるものを学ぼうとする意欲を高める力、第二に、学生を社会人としても音楽人としても有用な人間に育てる教員力（教育力、指導力、そしてその核となる研究力、演奏力、創造力）、第三に、それ

らを強力にバックアップし、大学運営を活性化させる職員力（政策企画力、運営遂行力、支援力）、そして第四に、それら大学が持てる力を大学の内外に適切かつ効果的に発信する広報力。

本学に魅力的な真の《大学力》があり、それが、かけるコストに見合うとステークホルダーの方々に評価されれば、どのような厳しい環境下でも人は集まってきます。私は学長に就任して3年半、この

主な経歴 関西学院大学大学院文学研究科博士課程単位取得退学、91年から教授。オペラハウス館長、大学院研究科長を経て06年に学長、09年から理事長。著作は、「室内楽の歴史」など多数。

音楽大学としての《大学力》を高めるために、学生の意欲を喚起する新しい制度やカリキュラムの構築、海外提携校の開拓、大学運営のための政策企画を立案するチームや諸種の委員会、プロジェクト・チームの設置、成果を内外に発信する広報統括システムの確立、FD活動、GP獲得の推進など、様々な施策を展開してきました。

ただ、これらの施策はまだ緒についたばかりであり、真の成果を見るには今以上に大きな精力を注ぐ必要があります。2015年の本学創立100周年に向けて、

本学が真の《大学力》を身に付け、建学の精神をより豊かに実現した日本有数の音楽大学になるために、私はさらなる情熱をもって努力を重ねたいと考えています。これまで展開してきた施策に改めてご理解いただき、今後も教職員の皆様のご協力、ご支援を賜ればありがたいと思っています。

姉妹校提携推進で 海外来訪者相次ぐ 10月

海外の大学や音楽院などの姉妹校提携を推進している大阪音楽大学に10月は、海外からの来訪者が相次ぎました。

20日朝、すでに姉妹校提携の覚書を交わした英国・王立ウェールズ音楽演劇大学からR・マクMahon教授と安良岡ゆう教授、同日午



ミシガン州立大学の3人と話し合う
中村孝義学長ら

後にはオランダ・ロッテルダム音楽院のF・ホイツ教授、同27日には米国・ミシ

ガン州立大学のJ・フォーガー教授・音楽学部長、G・ヴァチナーゼ同学部ピアノ科主任とその夫人で本学卒業生の杉村京美さん（83年大専修・ピアノ）が来学し、それぞれ中村孝義学長、竹田和子国際交流室主事らと懇談しました。

ロッテルダム音楽院のホイツ教授には覚書締結の書類などを託しました。ミシガン州立大学のフォーガー教授らとも話し合った結果、米国に持ち帰って結果を連絡してもらうことになりました。

片岡リサ講師

邦楽の片岡リサ講師は09年7月7日から16日まで、国際交流基金のアジア・太平洋洋州音楽公演でオーストラリア・シドニー、ニュージーランド・ウエリントン、フィリピン・マニラに派遣され、地元演奏家ともコラボレーション、国際交流の一翼を担いました。

7日はシドニー音楽院ヴァーブルッゲンホール、10日と11日はウエリントン・タウンホールアイロットシアター、14日と15日はマニラのフィリピン文化センターでそれぞれ公演。16日はサント・トマス大学音楽学部で箏のレクチャー・コンサートを開きました。

片岡さんと一緒に派遣されたのはピアノ、フルート、ヴァイオリ

菊武厚詞講師レポート

菊武厚詞講師はロシア連邦ブリヤート共和国の首都ウランウデで9月15日から19日まで開かれた「第4回ユーラシア音楽祭」に招待されました。以下は菊武講師のレポートです。

ロシア連邦各共和国と、ラトビア、ベラルーシ、台湾、モンゴル、ギリシャなど各国、各地方から参加した民族楽器による催しです。日本からは、学術発表の分野で山口修・元教授、演奏家は私と卒業生の菊重精峰氏ら計4人。

1日のスケジュールは、午前にマスタークラスとして、各国各楽器の紹介と講義、実習。その後60分のコンサートが2回。午後から学術会議、夕方からコンサートが2回。これが4日間連続で、様々な国の民族楽器の演奏と、その講習などを体験させて頂きました。



モンゴルの人たちと(右から2人目が菊武講師)

コンサートは、日本の場合、尺八、三味線、箏それぞれ1回ずつと、アンサンブル1回の計4回。最終日は、ガラ・コンサートに続き、演奏家総員によるブリヤートの歌「我らの祖国」(A.アンドレエフ作曲)が、異国の楽器群で大合奏され、聴衆から拍手喝采でした。

他国の演奏家たちは日本の文化にも大変興味を持たれ、口々にぜひ日本にも行ってみたいと言っていました。

本学の3講師が7月から11月にかけて海外で演奏活動を繰り広げました。邦楽の片岡リサ講師はオースト

3講師

海外でも活躍

ラリア、ニュージーランド、フィリピンの3カ国を訪問。同、菊武厚詞講師がロ

シア連邦ブリヤート共和国のユーラシア音楽祭に出演。声楽の大野一道講師はネパールへ出かけ、日本の歌などを披露しました。海外でも活躍する3講師の様子を紹介します。



箏のレクチャーコンサート=サント・トマス大学

ンの奏者計4人。各会場では4人の奏者がソロと合奏。アカデミー賞を受けた「おくりびと」のテーマ曲やそれぞれの土地に伝わり、地元の人の

ら誰でも知っている民謡などを演奏しました。

片岡さんは「箏の移動や、北半球と南半球で季節も真逆、衣裳も変えなくてはいけないなど、大変なことも多かったツアーでしたが、地元の人の箏の音が素晴らしいと言って頂けたことがうれしかったです。サント・トマス大学では箏の値段や調弦の方法、箏曲についての質問が飛び交い、有意義な時間を過ごすことが出来ました」と話していました。

大野一道講師

声楽の大野一道講師は11月6日から16日までネパール連邦民主共和国のヒマラヤの絶景を望む標高4000メートルのホテルに滞在し、シヤンボチェと首都カトマンズの2カ所で演奏会を催しました。

大野講師は一昨年から東京で「テーマリサイタル」を開催しています。そのファンの一人が今回の催しを企画しました。

まず、11日はシヤンボチェで。エベレストに初制覇したE・ヒラリー卿が創設したハイスクールで小・中・高



カトマンズのホテルで歌う大野講師

生300人と地元民を含む計約400人の前で「荒城の月」など日本の歌を披露。15日の演奏会はカトマンズで、ネパールに在住の日本人ら百数十人が集まりました。大野講師は「大自然と一体にある山岳民族、シェルパの営みの美しさに感動し、文化・芸術の意味と役割について改めて考えさせられました」と話していました。

1月・2月・3月 学校大阪音楽大学の催し

1月9日(土) 17時	Daionコンサート 夕映えの海とともに ATC南港サンセットホール 出演 星田一山 片岡リサ
1月10日(日) 17時	電子オルガンコース・コンサート「フライング・ライヴ2010」 OH 出演 電子オルガン・コース専攻生
1月16日(土) 15時	大阪音楽大学・大阪音楽大学短期大学部 合唱演奏会 OH 出演 大阪音楽大学合唱団
1月29日(金) 18時30分	ポピュラーコース・コンサート サンケイホールブリーゼ 出演 ポピュラー・コース専攻生
2月13日(土) 17時	Daionコンサート 夕映えの海とともに ATC南港サンセットホール 出演 織田優子 大内美奈子 小出智子
2月17日(水) 18時30分	ジャズコース・コンサート MH 出演 ジャズ・コース専攻生
2月20日(土) 14時	若い芽のコンサート 歌と器楽で奏でるロマン派の作曲家たち MH 出演 高木未知子 曾我けいこ 小泉文 吉川知佐 蛭川千佳 清水由佳子 橋川麗子 原真奈美
2月20日(土) 14時	第66回ミュージアム・コンサート「中世ルネサンス音楽の蒼き理想郷」 音楽博物館 お話 岡本一郎 演奏 ダンスリー・ルネサンス合奏団
2月21日(日) 14時	第21回大阪音楽大学学生オペラ「コジ・ファン・トゥッテ」第一日 OH 出演 選抜学生 大阪音楽大学管弦楽団・合唱団
2月22日(月) 18時30分	オペラ物知り講座(第1回振替) 「この人でこのオペラ!高嶋優羽さんの場合」 MH 講師 中村敬一 演奏 高嶋優羽 西垣俊朗
2月23日(火) 18時	第21回大阪音楽大学学生オペラ「コジ・ファン・トゥッテ」第二日 OH 出演 選抜学生 大阪音楽大学管弦楽団・合唱団
2月26日(金) 18時	ミュージカルコース公演「10ミュージカルへの招待」 OH 出演 ミュージカル・コース専攻生
2月27日(土) 14時	ミレニアムホール特別講座 『ショパンのふるさは、やはりポーランド』 MH 講師 日下部吉彦 演奏 岸本雅美
2月28日(日) 14時	短期大学部第15回吹奏楽演奏会 OH 出演 大阪音楽大学短期大学部吹奏楽団
3月5日(金) 18時30分	畑中良輔特別講座(第5回振替)「戦中より戦後へ」 MH 講師 畑中良輔 演奏 藤原未佳子 木村孝夫 中村展子
3月6日(土) 18時	大阪音楽大学第41回吹奏楽演奏会 ザ・シンフォニーホール 出演 大阪音楽大学吹奏楽団
3月7日(日) 14時	第13回コンサート・オペラ「蝶々夫人」 OH 出演 並河寿美 田中友輝子 小餅谷哲男 田中勉 ザ・カレッジオペラハウス管弦楽団・合唱団ほか
3月9日(火) 18時30分	オペラ物知り講座「この人でこのオペラ!石橋栄実さんの場合」 MH 講師 中村敬一 演奏 石橋栄実
3月10日(水) 18時	第7回ザ・ストリング・コンサート OH 出演 大阪音楽大学・同短期大学部弦楽器専攻生
3月13日(土) 17時	Daionコンサート 夕映えの海とともに ATC南港サンセットホール 出演 未定
3月14日(日) 14時	第3回オペラ物知り講座 in ひこね ひこね市文化プラザ 講師 中村敬一 演奏 並河寿美 諏訪部匡司 時宗務 林育子 ほか
3月15日(月) 18時	大阪音楽大学短期大学部2009年度卒業演奏会 第一夜 OH 出演 大阪音楽大学短期大学部選抜学生
3月16日(火) 18時	大阪音楽大学短期大学部2009年度卒業演奏会 第二夜 OH 出演 大阪音楽大学短期大学部選抜学生
3月17日(水) 18時	大阪音楽大学2009年度卒業演奏会 第一夜 OH 出演 大阪音楽大学選抜学生
3月18日(木) 18時	大阪音楽大学2009年度卒業演奏会 第二夜 OH 出演 大阪音楽大学選抜学生
3月23日(火) 18時	大学院演奏会 MH 出演 大阪音楽大学大学院生
3月30日(火) 19時	オペラハウス第24回推薦コンサート 「20世紀の歌曲〜21世紀へのメッセージ」 OH 出演 下岡万佑子 田中郷子 加藤哲子

OH/オペラハウス MH/ミレニアムホール

大阪音楽大学短期大学部ジャズ・ポピュラー専攻

電子オルガンコース・コンサート「フライング・ライヴ2010」

1月10日(日) 17時 入場無料(要整理券) ザ・カレッジ・オペラハウス
出演 電子オルガン・コース専攻生

ポピュラーコース・コンサート

1月29日(金) 18時30分 入場料1000円 サンケイホールブリーゼ

【チケット取扱い】

チケットぴあ ☎0570-02-9999 Pコード343-621

大阪音楽大学コンサート・センター ☎06-6334-2242

出演 ポピュラー・コース専攻生 専攻科在学学生 卒業生

ジャズコース・コンサート

2月17日(水) 18時30分 入場料1000円 ミレニアムホール

出演 ジャズ・コース専攻生

ミュージカルコース公演「10ミュージカルへの招待」

2月26日(金) 18時 入場料 未定 ザ・カレッジ・オペラハウス

出演 ミュージカル・コース専攻生

大阪音楽大学

大阪音楽大学短期大学部

合唱演奏会

1月16日(土) 15時 ザ・カレッジ・オペラハウス

入場料 1000円

指揮 本山秀毅 里井宏次 演奏 大阪音楽大学合唱団

木下牧子: 女声合唱とピアノのための「ファンタジア」 ほか

大阪音楽大学短期大学部第15回吹奏楽演奏会

2月28日(日) 14時 ザ・カレッジ・オペラハウス

入場料 1000円

指揮 小野川昭博 演奏 大阪音楽大学短期大学部吹奏楽団

R. ガランテ: レイズ・オブ・ザ・サン

真島俊夫: 三つのジャポニスム ほか

大阪音楽大学第41回吹奏楽演奏会

3月6日(土) 18時 ザ・シンフォニーホール

入場料 1000円 指定席

【チケット取扱い】

チケットぴあ ☎0570-02-9999(自動音声対応) Pコード341-588

ABCチケットセンター(ザ・シンフォニーホール内窓口受付のみ)

大阪音楽大学コンサート・センター ☎06-6334-2242(窓口受付のみ)

指揮 北野徹 丸谷明夫

演奏 大阪音楽大学吹奏楽団 大阪音楽大学合唱団

M.ラヴェル(高昌帥編曲):「ダフニスとクロエ」第2組曲 ほか

大阪音楽大学

大阪音楽大学短期大学部

第7回 ザ・ストリング・コンサート

3月10日(水) 18時 ザ・カレッジ・オペラハウス

入場料 1000円

指揮 上塚憲一

演奏 大阪音楽大学大学院/専攻科/大学/短期大学部弦楽器専攻生

コンサート・センターからお知らせ

■大阪音楽大学コンサート・センターでは、演奏会開催日(本学内開催)は、開演時刻まで窓口取扱時間を延長し、他公演の入場券の販売、発券を行います。これに伴い、演奏会場内での入場券の販売、発券はいたしません。コンサート・センター窓口でお求めください。

■本年度から本学学生出演の演奏会が一部有料になります。各演奏会の詳細とともにご案内いたします。

■電話、Fax、はがき、大学ホームページ等で入場券をお申し込みになり、郵送で受け取りご希望の場合、代金の振込手数料、送料はおお客様のご負担となります。また、本学主催演奏会の「ご案内チラシ」のみ郵送ご希望の方も送料をご負担いただきます。詳しくは電話でお問い合わせください。

[大阪音楽大学コンサート・センター] 〒561-8555 豊中市庄内幸町1-1-8

☎06-6334-2242 Fax06-6334-2164

ザ・カレッジ・オペラハウスの催し



第21回 大阪音楽大学学生オペラ

W.A.モーツァルト「コジ・ファン・トゥッテ」

(全2幕 原語上演 字幕付)

2月21日(日)14時 2月23日(火)18時 指定席

入場料 一般2000円

本学学生の家族/シルバー/幸楽会会員/付属音楽院会員/

小・中・高校生 1000円

指揮 小田野 宏之 演出 中村 敬一

合唱 大阪音楽大学合唱団 管弦楽 大阪音楽大学管弦楽団

◆キャスト◆

21日

23日

フィオルディリージ 川田理紗

平川文香

白根奈々

水野智絵

ドラベッラ

中 侑子

樋川 綾

グリエルモ

岩瀬昌弘

藤川晃史

フェッランド

小林 峻

矢野勇志

デスピーナ

友田久美

川口りな

高瀬 悠

ドン・アルフォンソ

清水一貴

尾崎彰信

〈お知らせ〉

学生オペラ入場券の発券方法が変わりました。はがき、またはFAXで「氏名(ふりがな)、郵便番号、住所、電話番号、公演日、演奏会名、枚数」を明記のうえ、コンサートセンターにお申し込みください。ホームページからもお申し込みいただけます。URL <http://daion.ac.jp>

開館20周年記念 第13回コンサート・オペラ

ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団 第44回定期演奏会

G.ブッチェリ「蝶々夫人」(演奏会形式 原語上演 字幕付)

3月7日(日)14時 指定席

入場料 一般5000円 シルバー/本学学生の家族/幸楽会会員/付属音楽院会員4000円 高校生以下2000円



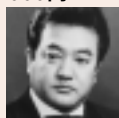
並河寿美



田中友輝子



小餅谷哲男



田中勉

指揮 チャン・ユンスン

◆キャスト◆

蝶々夫人

並河寿美

スズキ

田中友輝子

ピンカートン

小餅谷哲男

シャープレス

田中勉

ゴロー

清原邦仁

ヤマドリ、ボンゾ

澤井宏仁

神官

西田昭広

ケート

内藤里美

合唱

ザ・カレッジ・オペラハウス合唱団

管弦楽 ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団

ザ・カレッジ・オペラハウス第24回推薦コンサート2009

20世紀の歌曲～21世紀へのメッセージ

3月30日(火)19時 指定席

一般2000円

シルバー/本学学生の家族/幸楽会会員/付属音楽院会員/小・中・高校生 1000円

ソプラノ 下岡万佑子 田中郷子 ピアノ 加藤哲子

林光:四つの夕暮の歌

G.グラム:ソプラノと拡張されたピアノのためのエレーゼ「出現」

College Information

卒業生による 若い芽のコンサート vol.19

歌と器楽で奏でるロマン派の作曲家たち

～イタリア、フランス、ドイツ、ハンガリーより～

2月20日(土)14時 ミレニアムホール 入場料500円

演奏 高木未知子 曽我けいこ 小泉文 吉川知佐
蜷川千佳 清水由佳子 橋川麗子 原真奈美

オペラ物知り講座

第1回振替 この人でこのオペラ!

「高嶋優羽さんの場合」

2月22日(月)18時30分 ミレニアムホール

講師 中村敬一

演奏 ソプラノ 高嶋優羽 テノール 西垣俊朗

第4回 この人でこのオペラ!「石橋栄実さんの場合」

3月9日(火)18時30分 ミレニアムホール

講師 中村敬一

演奏 ソプラノ 石橋栄実

<申し込み・問い合わせ>エクステンション・センター

☎06-6334-2251 FAX06-6334-2542

大阪音楽大学出張講座

オペラ物知り講座 in ひこね vol.3

『蝶々夫人』

3月14日(日)14時 ひこね市文化プラザ エコーホール

前売1500円 当日2000円 自由席

[チケット取扱い] ひこね市文化プラザチケットセンター ☎0749-27-5200

構成・お話し 中村敬一

キャスト 並河寿美 諏訪部匡司 時宗務 林育子

ピアノ 矢崎真理 飯川弓恵

第38回 ミレニアムホール特別講座

『ショパンのふるさと、やはりポーランド』

2月27日(土)14時 ミレニアムホール

講師 日下部 吉彦 演奏 ピアノ 岸本雅美

受講料 1000円 *事前の申し込みが必要です。

<申し込み・問い合わせ>エクステンション・センター

☎06-6334-2251 FAX06-6334-2542

畑中良輔特別講座

日本歌曲 100年の歩みを辿って

3月5日(金)18時30分 第5回振替 ミレニアムホール

「戦中より戦後へ」箕作秋吉 清瀬保二 高田三郎

講師 畑中良輔 演奏 藤原未佳子 木村孝夫 中村展子

受講料 2000円(学生1000円) *事前の申し込みが必要です。

<申し込み・問い合わせ>エクステンション・センター

☎06-6334-2249 FAX06-6334-2542

大阪音楽大学 音楽博物館

第66回ミュージアム・コンサート

「中世ルネサンス音楽の蒼き理想郷」

2月20日(土)14時 音楽博物館

お話し 岡本一郎 演奏 ダンスリール・ルネサンス合奏団

入場料 1000円 *事前の申し込みが必要です。

<申し込み・問い合わせ>音楽博物館

☎06-6868-1509 FAX06-6865-1221

おことわり

第28回ミュージアム・セミナー「ウイグルの歌舞—世界無形文化遺産—」(3月20日)は、出演者の都合により中止になりました。ご了承ください。

矢崎真理さんのピアノで晴さんの豊かなバリトンが会場に響きます。G・ヴェルディの「運命の力」。この中で歌われるアリア「説教」。晴さんは、地道にキャリアを重ね、プロのオペラ歌手として自立していらっしやる数少ない歌い手さんの一人です。

— 新国立劇場のデビューは初舞台は03年。「フィガロの結婚」のアントニオ役でした。その後、A・ベルクの「ルル」で猛獣

オペラ物知り講座 第5期

「この人でこのオペラ」

中村 敬一



10月27日 シニアホール

晴雅彦さんの場合

使い、G・プッチーニの「ボエーム」ではアルチンドロ役を頂きました。

— 彼の役には超主役ではなく、もっと目立たない小さな役も。脇役はベテラン、主役級は若い人でもかまわない、というのが本場のオペラの作り方ですが、日本では重鎮が主役を、若い歌い手さんが脇役を歌うというアンバランスな状態が続いています。

脇役は主役を浮き立たせるむずかしい役どころ。テレビの大河ドラマを見ていると主役は新人でも、脇役はすぐ演技力のあるベテランの方が多くですね。

— 晴さんは外国の経験も豊かですよね

海外デビューは29歳のとき。ドイツの劇場で「魔笛」のパパゲーノを歌いました。

— ドイツ人にとってモーツァルトは大きな存在。日本人が、しかもドイツ語で主役を歌うことはなかなかないことです

夢を売っているというのか、ドラマを見ていただく中で、発音はとても大事。私もいじめにあったと思うぐらい、劇場の人たちには厳しく仕込まれました。

— 晴さんは外国でキャリアを重ねて、新国をはじめ日本中の劇場から職業歌手と呼ばれている貴重な歌い手。体の中にドラマを持ち、人を楽しませる彼の才能は日本オペラ界の財産です。

晴さんはこの日、G・A・ロールツィングの「密猟者」、P・I・チャイコフスキー「スペードの女王」のアリアをはじめ、テノールの小餅谷哲男講師とヴェルディ「ドン・カルロ」の「我々の胸に友情と希望を与える神よ」を歌いました。

ベートーヴェン（1770・1827年）はナポレオン（1769・1821年）と全くの同世代。フランス革命という動乱の時代を生きた音楽家でした。

ナポレオンが二十歳代で軍人として成果をあげたころ、ベートーヴェンはウィーンに移り、ハイドゥンに弟子入り。ピアニストとしての地位を手にした。

— 不幸なことに彼は30歳のころに耳の病に冒されます。丁度ナポレオンが

はびきの市民大学・聴講記 ⑦

西洋音楽史（講師・白石知雄）

ベートーヴェンとフランス革命

動乱の時代を生きた2人

皇帝に即位し、全ヨーロッパを制圧する時期と重なります。

ピアニストにとって耳の病気が致命的。1800年、まさに世紀の変わり目に彼は作曲家としてデビューし、最初の交響曲を発表、その後、このジャンルに集中的に取り組みます。

ニッケルムが付いた「皇帝」「田園」「運命」「熱情」「月光」などの名曲は彼が30歳から40歳代に書いた作品。激しい曲が多く、髪を振り乱した姿はこの時期のもの

です。

ナポレオンは1814年に皇帝の地位を追われます。ベートーヴェンにとってもすでに晩年。曲想も、それに合わせるようにロマン派の先がけを思わせるような小さなものに変わっていきます。

ベートーヴェンは戦時中、生涯で一つだけオペラを書いています。

1805年にウィーンで初演された「フィデリオ」がそれです。かつてモーツァルトが書いたような貴族向けのオペラではなく、友情や夫婦愛が散りばめられ、無実の罪でつかまった市民を救済する物語。

語。イタリア語ではなくドイツ語で上演し、民衆向けと思いたくするような作品です。観衆は手に汗握る思いで劇場に足を運んだに違いありません。

1808年、動乱の最中に書かれた交響曲第5番「運命」。第3楽章は暗闇、第4楽章は光、勝利、そして歓喜を音にしています。「闇から光」へのダイナミズムは、希望をもちたいと願う民衆の声そのもの。フランス革命の「時代の音」だったのです。音そのものに時代の気分を聞くと、新しい方を見え、新しいベートーヴェンが見えてくると思います。

大阪音楽学校大演奏会の予告記事が1927年(昭和2年)12月16日付の大阪朝日新聞に掲載されています。記事全体「写真①」をケイで囲い、ひととき目立つレイアウト。内容の冒頭に「同情週間」とあるのは、大阪音楽学校と新聞社がタイアップ、演奏会を開いて義金を募る、現在でいう「歳末助け合い運動」のはしりだったので。創立後わずか12年の大阪音楽学校は、社会奉仕活動にも力を入れていました。(文中敬称略)

記事の内容を見ると――。「本社同情週間第三日の催しの一つで

校史点描

創立百周年に向けて

〈10〉

ある大阪音楽学校大演奏会はいよ／＼十七日午後六時半より朝日會館公演場で開催されるが、同校ではこれが準備のため十五日午後五時から大阪府立女専(現・大阪府立大学)の講堂で全校生の最後の猛練習を行った、何分今回の演奏会は同校としては空前の大規模なもので、永井幸次氏を始め教官、講師達も總出で出演し、なかな／＼く六十名から成る混聲合唱團は關西には珍しいものである」

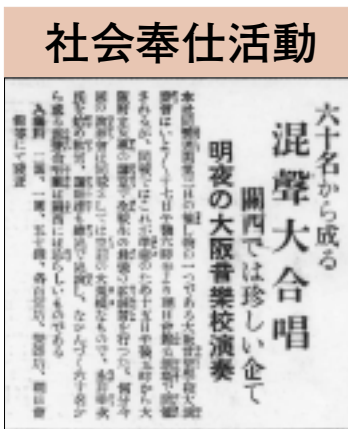
この後に「入場料 二圓、一圓、

五十銭、各百貨店、樂器店：」と続きますが、肝心の合唱曲名は当日の様子を報じた記事にありません。学校側にも資料がありませんので、残念ながら曲名は不明です。

中央公会堂で催された大阪市教育会主催の音楽会ではG・ヴェルディの歌劇「椿姫」第1幕の「乾杯の歌」を合唱。その後も、W・A・モーツァルト、F・J・ハイドンのミサ曲やオラトリオ、R・ヴァーグナー、ヴェルディの歌劇中の合唱曲などを採り上げ、レパート

大演奏会開き義金募る

社会奉仕活動



歳末助け合いのはしり



男女共学が許されない中で、混声合唱団の練習風景(昭和8、9年ごろ)

リーを広げていきました。

一方、大阪音楽学校が協賛した「同情週間」。きっかけは23年(大正12年)9月1日に起きた関東大震災です。死者は10万人超とも14万人超とも言われ、東京は震災の痛手から回復しませんでした。街には多数の罹災者がさまよい、将来の見通しも立たない有様でした。

ところで、大阪音楽学校の大演奏会はどうだったのか、翌日の記事は次のように伝えています。

「この音楽会は同校としても空前の大規模な計画の下にその準備を進めてゐたが、同校の持つ豊かな内容は、當夜の聴衆を全く驚かせたほど、出来を見せ、出演者の冴えた腕は最後まで人々を陶醉させて盛況裡に散會した」

12月4日付で義金運動の社告を掲載、これがわが国における新聞社会事業のスタートでした。原点は米国・サンフランシスコにある新聞社の義金運動でした。東京朝日の特派員がこれにヒントを得て、帰国後に運動を始め、他社も婦人記者を東京朝日に派遣、在留外国人も義金に協力したことが伝えられています。26年(大正15年)から大阪朝日新聞も呼応し、新聞社会事業に乗り出しました。大阪音楽学校は翌27年の歳末同情週間に参加。その時の催し物は大阪音楽学校の「大演奏会」をはじめ、「外国映画の夕」「写真撮影会」など18を数え、市内各百貨店も協力して早くも定着。その後は歳末だけでなく、「恵まれない人たちに愛の手を」と読者や視聴者に義援金を呼びかける運動が全国に広がり、各報道機関に次々と厚生文化事業団が誕生しました。



いずれも中丹文化会館

レポート 梶原綾華・森奈々

私たち大学専攻科生は毎年、学修の成果を学外で発揮するオータム・コンサート(音楽実践演習)を行っています。今年は10月10日に羽曳野市のLICCはびきの、11月15日に綾部市の中丹文化会館でそれぞれ演奏会を開きました。

バラエティ豊かな曲目を意識し、クラシックやミュージカル、ポピュラーなど様々なプログラムを用意。一つひとつの曲を編曲してメドレーにしたり、器楽編成を原曲と変えて演奏したり、工夫しまし

オータム・コンサート豪華に

羽曳野
綾部で

た。特に中丹文化会館では幸楽会中丹支部の先輩方にお手伝い頂き、地元合唱団とのジョイント、また、阪上和夫名誉教授をお迎えして豪華な演奏会となりました。

普段の勉強に追われる中、演奏会を一から作り上げるのは大変でしたが、充実もしていました。二つの演奏会とも大盛況で、支えてくださった方々に感謝の気持ちでいっぱいです。また、中丹文化会館での演奏会は12月末に地元局「FMいかる」で放送の予定です。

ドイツ・ノイス(ニーダーライン地方)で、宗教合唱曲を中心に演奏活動をしているカペラ・クイリーナ・ノイス室内合唱団の特別演奏会が10月24日、ミレニアムホールであり、大阪音楽大学混声合唱Sクラスが賛助出演しました。前日の23日には学生サロン「ぱうぜ」で学生たちと懇談しました。

独・カペラ・クイリーナ・ノイス室内合唱団

特別演奏会や学生と懇談

演奏会ではE・グリーグの「3つの詩篇」など、本学混声合唱SクラスとはA・ブルックナーの「アヴェ・マリア」のほか3曲をそれぞれ演奏しました。この後、ノイス合唱団が日本の民謡「こもりうた」や「そうらん節」、「会津磐梯山」を披露しました。

前日は合同練習の後にノイス合唱団と本学混声合唱Sクラスの学生が懇親会。「学生と一緒に練習して若返った気分」と合唱団。「本物のドイツ語が聞こえてきて刺激を受けた」と学生たち。最後はお互いの国の歌を合唱し合い、にぎやかに歌の輪が広がりました。



第23回新作展 10作品を演奏

第23回新作展では、審査で選ばれた10作品が演奏されました。前半は雲川貴博さんの『Zeit der Lücke』、忘却へ誘う川を、弦楽器の線描とピアノの茫漠とした響きで描いた高木日向子さんの『Le Lèthé pour Violon, Violoncelle et Piano』、岡本惟禎さんの『慈愛』、杉本悠さんの『生きてゐる位置』、『傘』、山本真理子さんの『Pearl Gray』。後半は中村徹さんの『マ



11月12日 ミレニアムホール

リンバと打楽器4奏者のための協奏組曲』、内兼久康美さんの『満月の夜に』、松本栄成さんの『西脇順三郎の詩による2つの歌曲』、恩地孝幸さんの『花時の序曲』に続いて、えぬ記憶とともに『』に続いて、最後は手柴里美さんの『銀色夏生の詩による2つの小品』。4人の歌い手が語り、歌、ヴォカリーズで現代詩のあやうく利根的な世界を立体的に表現しました。



第21回ザ・コンチエルト・コンサート

林ゆかりさん(大3)はF・メンデルスゾーン・バルトルディ「ピアノ協奏曲 第2番 二短調 作品40」、岡村哲朗さん(大4)はP・クレストン「トロンボーンとオーケストラのための幻想曲 作品42」、茶田清正さん(同)はH・トマジ「アルト・サクソフォーンとオーケストラのための協奏曲」を演奏。指揮は大勝秀也氏、演奏はザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団。

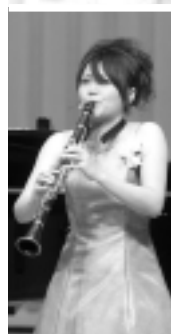
11月13日 オペラハウス



第20回ザ・カレッジ・コンサート



11月19日 オペラハウス



ピアノの増井愛さん(大3)はF・リストの「超絶技巧練習曲 第10番 ヘ短調」など3曲を、ソプラノの白井直美さん(大4)はG・プッチーニの歌劇「トスカ」より「歌に生き、愛に生き」など曲調の異なる6曲を歌いました。G・ロッシーニの「序奏、主題と変奏曲」などを演奏したのはクラリネットの小橋綾実さん(大4)。自分の音で様々な風景を描写し、歌い、語りかけました。



11月16日 オペラハウス

第24回ピアノ・グランド・コンサート



加茂里織さん(大2)と小野文さん(同)がW・A・モーツァルトの「2台のピアノのための協奏曲」、比果沙織さん(大3)はモーツァルトの「ピアノ協奏曲 第23番」、村井陽香さん(大3)はL・V・ベートーヴェンの「ピアノ協奏曲 第3番」を、大勝秀也氏の指揮、ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団との共演で演奏しました。

フルートの宮脇翔子さん(短2)をトップに独奏7人と独唱1人、二重唱、四重奏各1組の計14人が出場しました。サクソフォーン四重奏の坂本

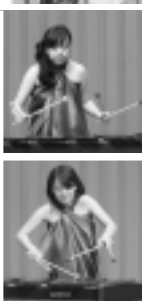
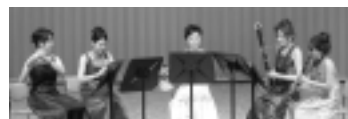
美佳子さんら短1の4人は「魅力的な演奏を」とP・シヨルティーノの「異教徒の踊り」を披露しました。



第16回ジュニア・カレッジ・コンサート

11月20日オペラハウス

第9回ザ・カレッジ・アンサンブル・コンサート



田中梨沙さん(大3・フルート)ら10組43人が演奏しました。濱田夕葵さん(大4・トランペット)らによる金管・打楽器十一重奏はG・リチャーズの「アラ・カルト」。ムーディーなスペインニッシュ料理「パエリア」や「お寿司」に続き、最後はイタリアの「ほうれん草のラザーニエ」。若い料理人による世界の料理に客席はご満悦。

11月9日 オペラハウス

ヌ・ダルク

出 岩田達宗
ス合唱団
ス管弦楽団

公演



20世紀オペラシリーズ、A・オネゲル作曲「火刑台上のジャンヌ・ダルク」が11月6日、8日、ザ・カレッジ・オペラハウスで上演されました。主役のジャンヌ（石橋菜実）と、修道士ドミニック（川下登）は語りのみで、しかも日本語。音楽の主体はジャンヌに救いを求め、時に糾弾するフランスの民衆（合唱）です。台本作者、P・クロード独特の手法で、動物裁判や王様のトランプゲームなど痛烈なパロディーが、コミカルな寸劇と、まばゆいほど色彩豊かな管弦楽で繰り広げられ、聖と俗の対比が浮き彫りに。オ

暗闇から光求めて



合唱指揮 船曳圭一郎さん「合唱の膨大な量、音と言葉（フランス語）の難しさ。三重苦でしたが、練習日を大幅に増やし克服しました」

チャン・ユンスンさん「エネルギッシュな岩田さんとオペラをつくる体験は刺激的でした。オンド・マルトノ奏者を探してくださった本田耕一館長に感謝したい」

演奏会



橋」から変更した都山流本曲「岩清水」、それにこの日の出演者総出の「冬の一」。

星田一山講師は「アクシデントはありましたが、早い時期から取り組んでいたで、支障がなくほっとしました」と話していました。



大阪音楽大学 第52回定期演奏会

大阪音楽大学第52回定期演奏会が12月4日、ザ・シンフォニーホールで開かれました。小田野宏之特任教授の指揮で、大阪音楽大学管弦楽団が、I・ストラヴィンスキの舞踊組曲『火の鳥』を魔術的な響き、めくるめく躍動感で表現。L・v・ベート



「火の鳥」と「第九」に挑戦



「ヴェーデンの『交響曲 第九番 二短調 作品125』は、大阪音楽大学合唱団とソリストに松田昌恵准教授、荒田祐子教授、西垣俊朗講師、田中勉教授

が加わり、端正なハーモニ、高揚した音楽を聴かせました。『第九』にはドイツの交換留学生、マルティン・F・カーゲルさんも加わり、ファゴットを演奏しました。

カーゲルさん「『第九』はベルリンで演奏したことがありますが、日本の学生と一緒に演奏できるなんて、とてもユニークな経験です」

コンサート・ミストレス山崎清花さん「自分の演奏以外にスコアを見て他の楽器の

パートを確認するなど、大変でしたが楽しかった」

小田野特任教授「『火の鳥』はストーリー性、『第九』は枠に収まらないダイナミックな表現を求め、学生たちはよく応えてくれました」



第6回ザ・ローレル・コンサート



2008年度大阪音楽大学音楽学部最優秀受賞者演奏会「第6回ザ・ローレル・コンサート」は10月29日19時から大阪市中央区のいずみホールで催され、3人が出演しました。

原田恵美さん
(09年大卒・ク)

08年度最優秀受賞者演奏会

ラリネット」はE・ボザの「イタリア風幻想曲」など3曲を演奏。「すべて大曲で、しかも、私が富山市で学んでいるため、ピアノの中村理愛さんとあまり合わせが出来ませんでした。しかし、さすがは親友、しっかりと受けてくれました」

三浦慎子さん(院1・ピアノ)はO・メシアンの「幼子イエスに注ぐ20のまなざし」より『全能の言葉』など3曲を披露。「私も大曲に挑戦したので、約30分間、集中力を維持するのが大変でした。途中からその集中力が切れそうになりましたが、何とか踏ん張り、弾き切りました」

ソプラノの中侑子さん(院1・オペラ)はO・レスピーギの「舞踏への誘い」など5曲を熱唱。「最初の2曲は緊張したのですが、途中から楽しく歌えました。最近、ちよつと体調を崩したので、私の今の状況では、よくがんばったと思います」

20世紀オペラシリーズ



ンド・マルトノやプリペアードピアノが劇的効果を高めます。ジャンヌが唯一口ずさむ「トリマゾ」の歌を通じて、聖母に捧げるろうそくと、火刑台の炎が一つになり、聖女たちの清らかな歌声に導かれ、昇天するジャンヌ。はらりと花びらが舞い散るようなフルートのフレーズで静かに幕を閉じました。

オペラハウスがフランスの作品を本格的に上演するのは初めて。フランス語、日本語、ラテン語が飛び交い、緊密に応答する斬新なスタイルは、開館20周年を機に新たな飛躍を示す舞台となりました。



石橋栄実さん「役作りのテーマは少女。一番の武器である音楽がない状態で、言葉をどう表現するか、新しい道が見えた気がします」

オンド・マルトノ奏者 久保智美さん「特異な音色とグリッサンドで、地獄の番犬の鳴き声や鐘の音、天からの声などを表現しました」

火刑台上のジャンヌ

指揮 チャン・ユンスン 演奏
合唱 ザ・カレッジ・オペラハウス
管弦楽 ザ・カレッジ・オペラハウス

文化庁芸術祭参加



第32回邦楽演奏会



第32回邦楽演奏会は11月27日、ミレニウムホールで開催されました。出演を予定していた講師と学生各1人が急病のため、急に演奏曲と演奏者を変更し、演奏会を乗り切りました。

プログラムは「編曲八千代獅子」、「千鳥の曲」、「石



作曲家として放送番組で多くのテーマ曲やCM曲などを手掛けた通称「浪花のモーツァルト」。

「人気

歌手の多くは楽譜が読めないのはご承知でしょう。大きなイベントで、

キダ・タロー氏 ～音楽と生活～



10月12日 シネアムホール

歌手がア・カペラで歌う『君が代』はほとんどが間違っています」

「人間は自分の歌っている歌や

演奏している楽器の音は本来、聴こえません。人間は不可解で頼りない存在です。人体が持っている耳、鼻、口、目は不確かで、たえず錯覚やミスをしています。自分が演奏した曲はその通りではなく、『つもり』の音が耳に入ります」

「童謡・唱歌の『うさぎとかめ』は作曲家でも間違っていて『もしもし かめよ』の『め』で下げるところを『よ』で下げています。阪神タイガースの歌（六甲風）もしかりで、難しいメロディは楽譜通りに歌わず、すべて変えてしまっています」

繊細な技巧、強靱な肉体、ダイナミックな表現力でダンス界をリードする平山氏。振付家としても高い評価を得ています。この日のテーマは「舞踊作品と音楽」。

平山 素子氏 ～舞踊作品と音楽～



10月13日 F号館214教室

大学、短大などの作曲専攻生35人が受講しました。平山氏のジャンルは1980年代に登場した「コンテンポラリー・

ダンス」。エスニック・ダンスや武術の動き、サーカスの要素など、あらゆる身体表現を取り入れた現代アート。ハイテク技術の登場させるのも現代作品の特徴の一つです、と紹介。

後半はバレエの基本と振り付けの実践。受講生たちは足や手の基本的な動きを教わった後、学生が即興で弾くピアノに合わせ、様々な身体表現を体験しました。

「音楽とダンスは寄り添う関係にあります。作曲の勉強をしている皆さんの中からダンス音楽を書いてみたいと思う人が一人でも多く出てくることを願っています」

特別講義

わずかな休憩を挟んで計6時間の公開レッスンで、桑沢美南さん（大2）ら6人の学生が指導してもらいました。

加茂里

織さん大

2）が演

奏したの

はドビュ

ッシーの

前奏曲第

1集より

「西風の見たもの」「亜麻色の髪の乙女」など。ほとんど良かった。でも、もっ

リチャード・マクマホン氏 Richard McMahon ～ピアノ～



10月20日 F号館112教室

と自由に。「doucement」の意味を知っていますか。英語では「甘い」。日本語では「やさしくとか、心地よく」と言う意味。歌う感じで、ここは羽根が空に浮かんでいるように、自由に時間を使って演奏してください。

英国・王立ウエールズ音楽演劇大学で後進の指導に当たるマクマホン氏は曲の読み方、奏法について、持てる知識と技術を惜しみなく学生たちに披露してくれました。

「わかりやすく、とても楽しかった」「先生のおかげで、思いつきり弾けるようになりました」と学生たち。

結成25周年を迎え、「ノルウェーの宝物」と言われるチェロのB・ルイスさんら4人に、ヴァイオリン松田

佳奈さん、

同、山田

聖華さん

（以上院

1）、ヴィ

オラ小澤

沙緒里さん（院2）、

ヴェルターヴォ・クワルテット Vertavo String Quartet



10月22日 O号館201教室

方法や音作りなどについてアドバイスを受けました。

ルイスさんら4人は松田さんらの演奏を聴いて「何を表現するか、何を伝えたいのかが客観的に見えてこないの、変化の幅に乏しい。自分自身はやっているつもりでも、周りには分からないので、もっと大げさに表現しましょう」。

また、「楽譜ばかり見ていないで、奏者同士もつとコンタクトを取り合って、コミュニケーションを活発にしてください」などと指摘。この後、ルイスさんら4人が模範演奏しました。

まず、「Ear Cleaning（耳のおそうじ）」をしましょう」と1分間目を閉じ、周りの音を聞き分けました。人は様々な音の中に生きているので音に敏感に「といふ訳です。音は空気の振動で、『集中的聴取』と何気なく聞く『拡散的聴取』の2通りあり、人間の可聴域は20〜2万

公開講座フェスタ2009

音楽・癒し
梅田裕子講師



11月9日 さいかくホール

Hz。心地よい領域は3000〜8000Hzで、モーツァルトの音楽は3000〜5000Hzと言われています。音楽療法は昔からありましたが、本格的には第2次世界大戦の1940年代、米国で体の傷などが回復しても心の傷がいえない人に音楽を聴かせ、効果があつたことから、科学的に研究。ポドルスキー氏が症状に合わせた音楽処方をつくりました。最後にメンデルスゾーン・バルトルディの「歌の翼」による幻想曲を演奏。フルートは小倉千佳さん（09年短大卒）。

鋭い感性、挑発的な表現、卓越したテクニクで日本でも人気の高いクロアチアのピアニスト、ケマル・ゲキチ氏が、「シヨパンの演奏法と解釈」をテーマに公開レクチャーを行いました。受講生は栗田真希さん（院2）と三浦槇子さん（院1）。シヨパンの「前奏曲集 作品28」を演奏した栗田さんに、ゲキチ氏は

ケマル・ゲキチ氏

Kemal Gekic

～シヨパンの演奏法と解釈～



10月23日 F号館434教室

「第一曲は音が少ししか使われていない分、一つひとつの音に多くの深い意味が込められていて、実はとても難しい。15秒間の中で何をいつているのかはつきり表さない。四声部になっているが、ポリフォニーを芸術的表現として実行するために、複数の声部をどう読むか考えて。ペースラインは男性の声、右手は女性の声と考えてもいい。最後はマジオルカ島へ向かう波間で揺れている感じ。手をやわらかく、リラクセスして」などと、楽曲の特徴とともに、シヨパンが作曲した状況をイメージ豊かに説明しながら指導しました。

特別講義

フランスの代表的クラリネット奏者、ミッシェル・アリニョン氏と、ヴァンドーレン社の専属テスター、ジャン＝ルイ・ルネ氏を招き、本学とビュッフェ・クラリネット社、野中貿易との産学連携により、日本クラリネット協会の協賛を得て、特別講義が行われました。第一部は公開レクチャー。ドビュッシーの「第1狂詩曲」を演奏した小橋綾実さん（大4）に、アリニョン氏は「avec charmeはチャームングに。スケルツァンドのテンポ設定が少し速すぎ。書かれたすべてのアーティキュレーションや表情を聴かせるテンポで」などとアドバイス。第二部はミニ・コンサート。アリニョン氏が油井美加子教授のピアノでヴィドールの「序奏とロンド」を演奏しました。第三部はルネ氏がマウスピースとリードに関するレクチャーを行い、材質、機能、音色の特徴や楽曲に適した選び方について、実演をまじえ説明しました。

ミッシェル・アリニョン氏
Michel Arrignon
ジャン＝ルイ・ルネ氏
Jean＝Louis René



11月2日 ミレニアムホール

佐治千・安東氏ら客員教授に特別名誉教授にモルティエ氏大阪音楽大学は10月26日付で鈴鹿短期大学学長（物理学者）の佐治晴夫氏、茶道・武者小路千家第14代家元の千宗守氏、狂言方能楽師で羽衣国際学園大学名誉教授の安東伸元氏をそれぞれ客員教授に迎えました。同日開いた教授会で承認されました。3氏は本学大学院で開講している「芸術文化の諸相」の講師や元講師。また、12月10日付でフランスを代表するクラリネット奏者のミッシェル・アリニョン氏が客員教授に就任しました。本学で87年6月に公開レクチャーをしたのを最初に09年11月まで計7回特別講義などを行っています。さらに、10年からスペイン・マドリッド王立歌劇場支配人に決まっているジュラル・モルティエ氏が10月8日付で特別名誉教授に就任しました。評議員の下倉氏に生存者叙勲学校法人大阪音楽大学評議員の下倉史郎氏が11月3日、秋の生存者叙勲で瑞宝小授章（消防功労）を受章しました。下倉氏は87年4月から96年3月末まで豊中市消防長を務め、05年8月から本学評議員。

に就任しました。09年11月まで計7回特別講義などを行っています。さらに、10年からスペイン・マドリッド王立歌劇場支配人に決まっているジュラル・モルティエ氏が10月8日付で特別名誉教授に就任しました。評議員の下倉氏に生存者叙勲学校法人大阪音楽大学評議員の下倉史郎氏が11月3日、秋の生存者叙勲で瑞宝小授章（消防功労）を受章しました。下倉氏は87年4月から96年3月末まで豊中市消防長を務め、05年8月から本学評議員。

声楽家でアレクサンダー・テクニーク教師の小野ひとみ氏（82年大卒・声楽）が10月27日、C40



小野ひとみ氏

アレクサンダー・テクニーク
特別授業と本出版

1教室でオペラ特別研究Ⅱの受講生を対象に特別授業をしました。同テクニークはオーストラリアの

演劇人、F・M・アレクサンダーが開発した一種の心身コントロール法。授業の一部を紹介します。

「一生懸命にやっているのに『思



い通り』いけないという人がいます。赤ん坊や幼児は思い通り動いているのに、大人になるとなぜ出

来ないの？ ヘッド・リード (Head leads)、頭が動くとき脊椎が動いて身体が動くのが脊椎動物です。なになにするぞ、という『①自覚ある意志決定』と、習慣に使われる

幼児教育者用 バイエル出版 衣川さんら編著



すべての人と幼児教育をめざす人のために、と衣川久美子さん（79年大卒・声楽）、古庵晶子さん（90年大専修・ピアノ）ら4人が編著の「なるほど！ バイエル①どこからはじめてもOK」と「同②#・bだってOK」が株式会社サールベル社から出版されました。定価は2冊とも1400円＋税。

衣川さんら4人は甲南女子大学人間科学部子ども学科などの講師。出版の動機は保育士・幼稚園、小学校教諭養成校の学生らが在学中、授業時間内で就職試験の要求レベルに達することがかなり困難との現状に対応するためです。

「最低限必要な楽譜の知識、読譜法、練習のこつやヒントをやさしくまとめ、基礎的な技術だけでなく音楽の総合的な力がつくテキストづくりをした。また、バイエル106曲を解析し、短期間で能率よく学べるよう厳選した計45曲を弾きやすい順に並べ替え、さらに、ピアノレッスンの自習力をつけるノウハウを満載しているのが特徴」としています。

『②自覚のない意志決定』があります。①は『思い通り』、②は習慣という意識で判断力を失います」と言い、そこで、「思い通りに動くために」と同テクニークでは効果的な解決策を示しています。

また、小野氏監訳の「音楽家のためのアレクサンダー・テクニーク入門」が春秋社から出版されました。A5判、425頁で2800円＋税。著者はチェリストのP・de・アルカンタラ氏、翻訳は弘前大学教授の今田匡彦氏。小野さんが用語など全体を見直しました。

大学・短大各4人に 給付奨学金通知書

09年度大阪音楽大学奨学金制度によるフレッシュマン給付奨学金の給付決定通知書授与が10月22日、A号館2階会議室であり、中村孝義学長が大学生、短大生各4人に通知書を手渡しました。



この制度は1年生が対象で、選ばれた大学生に45万円、短大生に40万円がそれぞれ支給されます。適用者は次の皆さん。

【大学生】伏見千紗都（ピアノ）▽山下美緒（クラリネット）

ト）▽柳原将也（サクソフォーン）
▽飯川佳子（ホルン）
【短大生】奈良環（管楽器コーストランペット）▽康基勲（ポピュラー・コース ヴォーカル）
▽今井麻友美、大谷美緒（以上電子オルガン・コース）

本学が防犯功労者に

大阪音楽大学は10月14日、ザ・カレッジ・オペラハウスで催された全国地域安全運動 平成21年豊中南市民大会で、防犯功労者として大阪府警



⑤は贈られた賞状
⑥は熱唱する西垣俊朗講師ら

察本部長・大阪府防犯協会連合会長連名表彰を受けました。また、サウンドスクールパトロール隊を代表して山根佑果さん（大4・トロンボーン）が「安全で安心して暮らせるまちが願い」との大会宣言をしました。

大会第2部では、本学の西垣俊朗講師（テノール）、影山貴美子さん（04年大卒・ソプラノ）が、演奏員の林朋美さん（01年院修・ピアノ）のピアノ伴奏で「荒城の月」など「歌い継ぎたい心の歌、日本の歌、世界の歌」を披露しました。

人間・郷土愛 みごと演出

兵庫県川西市ゆかりの坂田金時を主人公にした市民創作ミュージカル「川西の金太郎」(全3幕・ダブルキャスト)の公演が10月17、18日、川西市文化会館大ホールで行われました。総監督を務めたのは声楽家・尾市雅子さん(77年大卒・ソプラノ)。台本や作詞も手掛け、金太郎の母・山姥の大事な役で舞台にも登場しました。ミュージカルは尾市さんにとって初めての挑戦でしたが、完成度は高く、2日間とも立見が出るほどでした。

「川西の金太郎」

第一幕は金太郎誕生のシーン。

恐ろしい鬼に母親を連れ去られた金太郎が、恋人をさらわれた源頼光とともに大江山に向かい、

声楽家 尾市雅子さん

ミュージカル初挑戦

悪戦苦闘の末、無事救出する、という筋書き。ベースは昔話で知られる金太郎の鬼退治ですが、尾市さんたちは清和源氏の祖とされる源満仲ら地元ゆかりの人物や地名、特産物を随所に登場させ、市民により身近な物語に仕上げました。



尾市雅子さんと、
尾市さん演じる山姥

舞台支えた本学卒業生ら

08年度から「金太郎プロジェクト」に取り組む川西市に、子ども

日まで続きました。

のためのミュージカルを提案したのがことの始まり。出演者は2歳

から89歳までの110人。このうち

金太郎や鬼の子ども、森の動物、

合唱団、ダンサーたち100人は

市民から公募し、オーディション

に合格した人たち。6月から稽古

に入り、プロの声楽家や振り付け

師たちによる厳しい指導は本番前

小鳥やサル、森の妖精たちが歌い、飛び跳ね、彼の誕生を祝福します。客席からは思わず「かわいい」。一番の見せ場は第三幕、金太郎が鬼と対決し山姥たちを救出する場面。鬼の子どもが父親に「どうして僕たちには友達ができないの」と問いかけます。金太郎が諭します。「思いやりの心を持つんだ。そうすれば自然に人が集まり、友達ができるんだよ」と。

「みんなのやさしさと勇気が、

鬼たちを救ったんだ。わがふるさと、川西へ帰ろう」。客席には目頭を押さえるお母さんたちの姿も。出演者全員で「金太郎の歌」を合唱し、やがて幕が下ります。「台本も音楽も素晴らしい。それに真剣に取り組む子どもたちの姿。感動を頂きました」。舞台が終わった後もなかなか帰ろうとしないお客さんたち。いつまでも「ほっこり」気分にはたっていました。

方ばかりなのに、二つ返事で引き受けてくださいました。大音の絆の強さをこのときほど感じたことはありません」と尾市さん。

音楽も観客の心をひきつけました。劇中で歌われた歌は30曲。桃やイチジクなど地元の特産物を織り込んだコミカルな「三人娘の歌」、川西の歴史と自然を称えた「川西讃歌」など、これらすべての曲は本学講師の熊谷美紀さんが作曲し、井村誠貴さん(94年大卒・管弦打)が指揮をとりました。

関西歌劇団や川西市の「みつなかオペラ」で活躍する尾市さん。「出演者は子どもからお年寄りまでの4世代。一つにまとめ上げるのに苦労しましたが、みなさんの思いが一つになり、すばらしい花を咲かせてくれました」。

■2010年度推薦入学試験結果

大阪音楽大学 音楽学部	公募推薦		特別推薦	
	志願者数	合格者数	志願者数	合格者数
作曲学科	3	2	0	—
作曲専攻	3	2	0	—
音楽学専攻	0	—	0	—
声楽学科	14	12	8	8
器楽学科	74	64	46	46
ピアノ専攻	29	26	28	28
オルガン専攻	0	—	0	—
管楽器専攻	39	33	11	11
弦楽器専攻	2	2	4	4
打楽器専攻	2	1	3	3
邦楽専攻	2	2	0	—
合 計	91	78	54	54

大阪音楽大学短期大学部 音楽科	公募推薦		特別推薦	
	志願者数	合格者数	志願者数	合格者数
作曲コース	1	1	1	1
声楽コース	17	17	4	4
ピアノ・コース	34	33	29	29
管楽器コース	28	27	26	26
弦楽器コース	3	3	1	1
打楽器コース	3	3	4	4
邦楽コース	1	1	0	—
ジャズ・コース	4	4	1	1
ポピュラー・コース	32	27	7	6
ミュージカル・コース	3	3	1	1
電子オルガン・コース	6	5	8	8
合 計	132	124	82	81



こんにちは、受験アドバイザーのともみです。インフルエンザが流行し、特に受験生は体調にも留意してお過ごしのことでしょう。

試験当日に自身の持つ

る最高の力を発揮してください。出願に関してお願いがあります。

一般入試A日程2月9日から

書類の記入漏れ、その他不備がある場合は願書を受理できません。余裕を持って出願書類の用意、願書の記入をしてください。

10年度一般入試試験A日程

試験日 2月9日(火) 2月12日(金)

出願期間

1月18日(月)～1月21日(木) 郵送必着
1月22日(金) 9時～15時 窓口持参のみ

《はたけ山先生へ》
日本に帰るのはうれしいうけど、なんだかハノイをはなれるのはさびしいです。音楽のじゅ業は、先生がいろんな歌を歌ってくれたり、リコーダーをふいたり、楽器を作ったりして、大好きだったよ。わたしは、はたけ山先生のオペラのよう

畠山歩美さんのハノイ奮闘記



うな歌声をまねしようと思ってもできなかったけど、先生のきれいな歌声が好きです。ずっと歌い続けてね。10月に転出した生徒が最後の登

生徒からの手紙

矢野・幸楽会会長と教え子が台湾で演奏

同窓会《幸楽会》会長の矢野蓉子・名誉教授と

ピアノリストの阪本朋子講師、それに矢野名誉教授の教え子4人の計6人が10月17日、台湾・台北の東門教会で開かれたコンサートで、日本歌曲やイタリア、



校日に私にくれた手紙です。

新任の私にとって、授業というのは毎回が真剣勝負。生徒指導に悩んだり、研究授業で大失敗をして落ち込む私。そんな私を子どもたちはどのように思っているのだろうと、ずっと思いついていました。そんな時に子どもからの手紙。『まだまだ授業はへたくそですが、先生は今のままの先生でいいんだよ』と逆に教わったように思います。

転出した生徒にとって、私はいつまでもハノイ日本人学校の「音楽の先生」なんですよね。これからも音楽の楽しさを子どもたちに伝え、私なりの教師像を作り上げていきたいと思っています。

ドイツ歌曲などを披露しました。

コンサートは戦前から日本との関係が深かった人たちがつくる社団法人 台北市松年福祉会「玉蘭荘」の創立20周年を記念して催されました。矢野名誉教授は約15年前から時々参加しています。

今回は教え子の吉永裕恵さん(96年大専修・声楽)、大谷志穂さん(98年院修・歌曲)、大藤友里さん(00年大卒・声楽) 藤井理紗さん(03年院修・オペラ) も出演し、イタリア、ドイツ、フランスなど、それぞれ得意分野の曲を歌いました。

音楽・心の旅23 豊中市立中央公民館



◎10月29日 藤井敬吾講師

◎11月5日 中村真美講師

◎11月12日 木村知之講師

◎11月19日 時宗 務さん

300年のギター音楽

①

「ギターはピアノよりも古く古代エジプト文明のころにはすでに存在していました」。歴史をひも解く藤井講師。木村モモさん（08年短専修）と「薔薇の中の薔薇」「パイプライン」など中世から近・現代までの13曲を演奏。ギターの魅力を心ゆくまで披露しました。

古典から現代へ

②

18世紀に生まれたバスカラリネットは、豊かな音量と広い低音域、チェロのようにやわらかな響きが魅力です。中村講師はバスカラリネットに特殊管も交え、本川ひとみさん、石本奈緒さん、萩原亜弓さん、ピアノの小堀英郎さんと、ボザらの作品を演奏しました。

ジャズミュージシャンの楽器別人間模様を考える

③

「トランペットは亭主閑白、ギタリストには陰があり、ドラムは

音楽の宝石箱 高槻市立生涯学習センター



◎10月16日 呉 信一講師

◎10月30日 松田淳一講師

◎11月13日 北見真智子講師

◎11月20日 晴 雅彦さん

トロンボーンってどんな楽器!?

①

大阪フィルハーモニー交響楽団で首席トロンボーン奏者をつとめた呉信一講師。楽器を紹介しながら、癒し系の音楽・2楽章”を集めてクラリネットの長門由華講師、ピアノの宮川真由美さんと共演。大らかでナチュラルな音色、スライドの妙技を披露しました。

映像と音楽と朗読と

②

ヴァイオリン松田講師、ピアノ松田淳子さん（82大卒）、チェロ後藤敏子さん（84年院修）、フルート吉田真里子さんの4人が出演。第1部は「音楽で巡る日本の旅」。第2部は音楽物語「百万回生きたねこ」（佐野洋子原作）を朗読、「黄昏のワルツ」などを演奏しました。

オペラの訳詞に込められた想い

④

年短卒）の3人で「枯葉」「オーバード・ザ・レンボー」などを演奏。百年以上前に日本語で初演されたオペラの数々。森岡外訳詞のグルック作曲「オルフェウス」より『オルフェウスのアリア』などを時宗さん（03年院修・バリトン）と金川佳永さん（98年大卒・ソプラノ）が、これからは日本語で歌い継がれるよう、伊原敏行さん（96年大専修）のピアノで紹介しました。

能の音色に魅せられて

③

能とは―古典的題材を取り上げ、幽玄美を第一とする歌舞劇。南北朝・室町時代初期にかけて発達、江戸時代中期に様式の完成をみる、などと説明。能楽師 笛方森田流 森田保美さんと同 小鼓方大倉流 清水皓祐さんが「置鼓」や「獅子」（能「石橋」より）を演奏しました。

モーツァルトの楽しいオペラの世界

④

バリトン歌手の晴雅彦さんが「魔笛」の「おいらは鳥刺し」を歌いながら客席から登場。陽気な歌と演技、巧みな話術に、受講者はたちまちモーツァルトのオペラの虜に。ソプラノの田邊織恵さん、ピアノの矢崎真理さんとの共演でオペラの名場面を披露しました。

ジャズ・アドリブ演奏法

⑤



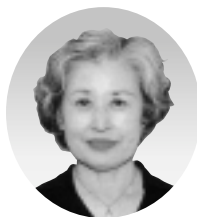
◎11月27日 森 宏教授

ピアノ・森宏教授、ベース・神田芳郎さん、ドラムス・東敏之講師が「Love for sale」『Autumn Leaves』などを演奏。スタンダード曲やボサノバなどを通して、自由な発想でアドリブするジャズの魅力について解説しました。ライブさながら。会場はのりのり。

神戸市文化賞を受賞

声楽家の永井和子名誉教授が平成21年度「神戸市文化賞」を受賞しました。この賞は学術・芸術の分野で特に神戸市の文化発展に貢

永井和子名誉教授



オペラ普及に貢献

関西歌劇団に在籍、オペラのプリマドンナとして主役を40回以上演じ、リサイタルも内外で数多く開催するなどオペラの普及、発展に大きな業績を残しました。60年から44年間は本学の教壇に

立ち、後進の育成にも力をそそいできたほか、発声学の研究者として講演、講座も精力的にこなしてきました。これまでに神戸音楽家協会代表幹事などを務め、現在は関西歌劇団名誉団員・監事、神戸日独協会最高顧問。地域に根付いた幅広い活動が受賞につながりました。

永井名誉教授の話 本学卒業後約50年間、阪神間を中心に活動してまいりました。その間、いろいろな文化団体に属し、多くの知識人と接する中、私自身が育ったこと、それらの団体でたくさんの方の仕事をさせていただいたことが、今回の受賞につながったものと深く感謝しております。

榎貴志さん「音コン」入選

献した個人、団体に贈られる賞で、贈呈式は9月29日に神戸市中央区の相楽園会館で行われました。ソプラノの永井名誉教授は長年、



第78回日本音楽コンクール（毎日新聞社、NHK共催）の声楽部門本選会が10月23日、東京オペラシティで行われ、バリトンの榎貴志さん（02年大卒・声楽）が入選しました。

今回は160人の応募があり、2度の予選を通過した7人が得意のオペラアリアを競演。チャイコフスキー「スベードの女王」から「私ははかり知れないほど愛している」、ロッシーニ「セヴィリアの理髪師」から「私は町の何でも

屋」を歌った榎さんは「美声で発声も良く、磨けば磨くほど良くなりそうな逸材」との評価を受けました。榎さんは新国立劇場研修生の第5期生。8月に行われた第13回松方ホール音楽賞（神戸新聞社など主催）で特賞と音楽賞を受賞、第18回ABC新人コンサート（ABC音楽振興会主催）では代表に選ばれ、2010年2月11日にザ・シンフォニーホールで開催される「ABCフレッシュ・コンサート」で大阪フィルと共演することが決まっています。

コンクール

敬称略

■第12回長江杯国際音楽コンクール 声楽部門一般の部A 3位 佐川康子（99年院修・ソプラノ）=8月15日、ピッコロシアター。中国音楽理事会主催

■京都ピアノコンクール2009 E部門大学生・一般の部 金賞 三浦慎子（院1・ピアノ）=8月23日、京都府立府民ホール・アルティ。京都ピアノコンクール実行委員会主催

■第11回日本演奏家コンクール ピアノ部門一般Aの部 3位 木村彩乃（07年大卒・ピアノ）=8月26日、横浜みなとみらいホール。日本演奏家協会主催

■第22回和歌山音楽コンクール ピアノ部門大学生以上の部 2位（1位該当なし） 齊藤まり子（04年大専修・ピアノ）=8月27日、和歌山市民ホール。和歌山音楽コンクール実行委員会主催

■第17回日本歌曲コンクール 声楽部門 1位、四家文子賞 福嶋勲（99年大卒・バリトン）=9月22日、東京文化会館。日本歌曲振興会主催

■第15回みえ音楽コンクール ピアノ部門デュオBコースの部 1位 奥出容子（03年短専修・ピアノ）、桃谷江美（04年大卒・ピアノ）=9月27日、三重県文化会館。みえ音楽コンクール運営委員会主催

■RMSオルガン・ミュージックフェスティバル 一般部門 最優秀賞 高崎大輔（08年短専修・電子オルガン）=10月24日、メルパルクホール。Roland主催



佐川康子



三浦慎子



木村彩乃



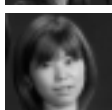
齊藤まり子



福嶋勲



奥出容子



桃谷江美



高崎大輔

榎貴志さんの話 来年は関西人にとって夢の舞台でもあるザ・シンフォニーホールで歌わせていただけることになりました。皆様の心に響く演奏が出来たら幸いです。そして、これからは、海外にも目を向け、いろんなオーディションに挑戦していきたいと思っています。

大阪音楽大学後援演奏会

大竹道哉ピアノリサイタル

12月26日(土) 13時30分
和泉市久保記念美術館
入場無料 ただし美術館への入館料要
ウェーベル:変奏曲 作品27 ほか
☎0725-54-0001 久保記念美術館

宮下朋樹ピアノリサイタル

ベートーヴェンピアノソナタ全曲演奏会 vol. XI
1月16日(土) 14時 3500円
東京オペラシティリサイタルホール
ベートーヴェン:ピアノソナタ 作品109 ほか
☎03-3320-1671 カワイ音楽振興会

バリアフリーコンサート

〜クラシックからジャズ・ポップスまで〜
1月24日(日) 14時
宝塚市立文化施設ベガ・ホール
前売1500円 前売ペア2500円 当日各500円増
中谷龍也 小西潤子 木村孝夫 石原光世
村崎愛 花山教子
☎072-622-9928 バリアフリーコンサート企画

An Evening of Art Songs ~歌曲の夕べ

1月29日(金) 19時 2000円
兵庫県立芸術文化センター神戸女学院小ホール
木下裕子 高津綾子 松本温子 井門亜美
竹内直紀 中西金也 藤美千代 宮嶋聡子
小上多衣子 青谷理子 市川麻里
窪田恵美 満多野志野 村上衣絵
☎075-601-4955 藤

歌曲の玉手箱〜歌曲史を辿る〜

2月27日(土) 18時30分 2000円
ノア・アコルデ音楽アートサロン
田中勉 小原道雄 原真奈美
☎06-6151-4134 レクチャーコンサートを広める会

〜古典派からロマン派へピアノ協奏曲の軌跡

vol.1〜出戸由記子プロデュース
3月5日(金) 19時 いすみホール
前売4000円 当日4500円
宋谷希 小笠原順子 松原賢司
☎06-6345-1046 日本テレマン協会事務局

第43回 幸楽会コンサート 〜ニューイヤーコンサート〜

1月11日(月・祝) 14時

入場料 2000円 ザ・カレッジ・オペラハウス

第一部 邦楽

春の海/さくら変奏曲/千の風になって
箏 片岡リサ 菊信木洋子 仙崎莉絵
尺八 星田一山

第二部 ピアノ四重奏

モーツァルト:ピアノ四重奏曲 第1番 KV478
ピアノ 矢崎真理 ヴァイオリン 赤松由夏
ヴィオラ 上野亮子 チェロ 後藤敏子

第三部 歌とアンサンブル

春の声/美しく青きドナウ/
「メリーウイドウ」より ほか
ソプラノ 田邊織恵 ピアノ 矢崎真理
幸楽会ニューイヤーアンサンブル
(ヴァイオリン 赤松由夏 山根朋子 ヴィオ
ラ 上野亮子 チェロ 後藤敏子 コントラ
バス 土屋綾子 フルート 待永望 オーボ
エ 佛田明希子 クラリネット 玄宗哲 ファ
ゴット 首藤元 ホルン 西陽子)

〈申し込み・問い合わせ〉

大阪音楽大学同窓会《幸楽会》事務局
☎06-6334-2832 FAX06-6336-9834

総会 4月25日に開催

幸楽会

お楽しみいただく企画を、ご用意
しています。ぜひ進化する母校の
“今”の姿をご覧ください。

堂田支部長がエッセー集出版

ピアノリスト、教育者、音楽コー
ディネーターとして、地域に根ざ
した音楽活動を展開する堂田展江
福井県支部長が、エッセー集『ピ

《幸楽会》後援演奏会

オペラ「清教徒」全3幕 原語上演 字幕付

1月6日(水) 15時
田村香絵子 中川正崇 島影聖人 関口康祐
オペラ「愛の妙薬」全2幕 原語上演 字幕付
1月6日(水) 18時30分
内藤里美 新屋良太 大西信太郎 山本金佐子
入場料3000円(両公演共通券)
兵庫県立芸術文化センター神戸女学院小ホール
☎090-9098-1891 田村

NPO法人室内合奏団 THE STRINGS

震災遺児支援チャリティコンサート
1月17日(日) 14時30分 灘区民ホールマリーホール
前売一般2000円 学生1500円 小学生1000円 当日500円増
佐藤俊太郎 農瀬奈緒
☎078-203-8038 NPO法人室内合奏団THE STRINGS事務局

石井陽子 長谷川美穂ジョイントコンサート

1月17日(日) 16時 前売2000円 当日2500円
ムラマツリサイタルホール新大阪
プロコフィエフ:フルートソナタ ニ長調 ほか
☎06-6394-6000 村松楽器

プリンセスコンサート vol.2

1月29日(金) 18時 入場無料
神戸市立灘区民ホールマリーホール
ショパン:バラード 第1番 第3番 ほか
☎070-5436-8179 上平田

Bari-Tuba Ensemble おとめ座

第11回定期演奏会
2月7日(日) 14時 500円
豊中市立アケア文化ホール
☎090-5299-8592 金

久保美緒ピアノリサイタル 北欧とロシアより

2月28日(日) 14時30分
ルミエールホール
前売一般2500円 学生1000円(当日500円増)
久保美緒 谷口朋子 元井あづさ
チャイコフスキー:ピアノ三重奏曲 イ短調
＜偉大な芸術家の思い出のために＞ ほか
☎06-6908-5300 門真市文化会館

東儀幸名誉教授が死去



大阪音楽大学の東儀幸名誉教授
(ヴァイオリン) が10月12日、眼
瞼がんで死去され
ました。葬儀は15
日、大阪府吹田市
内で営まれました。

東儀幸名誉教授は71年に助教、
77年に教授になり、多くのヴァイ
オリン奏者の育成に尽力しました。
98年3月に定年退職し、同4月に
名誉教授の称号が贈られました。

◆第38回ベストドレッサー賞に指揮者の西本智実さん(94年大卒・作
曲) インターナショナル部門で選ばれ、11月26日に都内で授賞式が
ありました。日本メンズブファッション協会主催。

無料。お申し込みは敦賀市中央町
一丁目、福井新聞敦賀支社へ。



「ピアノ大好き! 愛をありがとう」
を出版しました。福井新聞嶺南版
の「BYわかさ」
に寄稿したエッ
セーをまとめた
もので、A5判
113ページ。

オペラハウス合唱団2月に公演
本学20世紀オペラ公演で完成度
の高い合唱を聴かせたザ・カレッ
ジ・オペラハウス合唱団が、2月
5日、ザ・シンフォニーホールで、
再度「火刑台上のジャンヌ・ダル
ク」を歌います。沼尻竜典指揮、
大阪センチュリー交響楽団との共
演で、今回は演奏会形式です。



姿消したタレント



学生の手作り好評



学生のつながりをメインテーマにした「大学祭2009～EPOCH～」が学生サロンばうぜと中庭を主会場に10月30日から11月1日まで開かれました。

今年は新しい大学祭を模索する中で、大規模な特設ステージやお笑いタレントが姿を消すなど、手作りのお祭りへ一気に様変わり。現役の神職や巫女を中心に結



大学祭

成された「天地雅楽」をはじめ、オペラ研究部員によるAutumn Concertや学生、卒業生によるダンスやピアノ、招待バンドなどが祭りを盛り上げました。

最終日は昼前からあいにくの雨。盛り上がりには水をさす格好になりましたが、会場を訪れた地域の人たちは「お笑いに頼らず、音大らしい学祭」となかなかの好感度。



11月21日 ミレニアムホール

若い芽のコンサート vol.18



今回は「華麗なる歌曲とデュオの競演」で皆さんをヨーロッパ横断の旅にお誘いします。
旅の始まりはイタリア。土肥彩香さんは旋律の美しさに重きをおいたE・ヴォルフ・フェラーリと、リリカ（叙情歌）という独自のイタリア歌曲を作り上げた



第37回レクチャー・コンサート

講師 日下部 吉彦

今回は伴奏ピアノ・パートに焦点を当て、シューベルトの三大歌曲集に迫ります。演奏はピアノ・岡原慎也教授、バリトン・藤村匡人さん。客席は300人を超す受講者で満席。

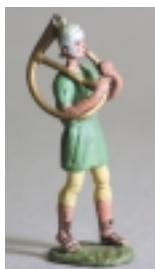
歌曲集「美しい水車屋の娘」は彼が26歳のときの作品で全20曲。恋に敗れた若者が小川に身を沈めて死んでゆく悲しい歌です。
「冬の旅」（24曲）はあてのない絶望への旅立ち。病気が進行し、亡くなる1年前、30歳のときの歌曲集。内面的、心理的な描写が多く、「幻の太陽」では「自分は暗闇こそ住みやすい。早く太陽が沈んでほしい」と歌っています。
「白鳥の歌」（全14曲）は彼の死後、出版社が作品を集めて世に出しました。こ

「シューベルト、歌曲の世界」



12月5日 ミレニアムホール

楽器を奏でる人形たち



古代ローマのラッパ
コルヌを吹く戦士。このラッパは権威の象徴とされ、宗教行事や軍用に使われていました。コルヌは現代のホルンと同様に角笛の意味。スペイン製。

西岡信雄コレクションより（音楽博物館所蔵）

の中の「鳩の便り」は死の1カ月前、絶筆となった作品。暗い曲がほとんどのシューベルトですが、最後に書いた曲に、ほのかな明るさのあるのが救いです。

O・レスピーギの作品を披露。
倉本尚子さんはフランス。叙唱風な旋律法でエキゾチックな東洋の世界を表現したM・ラヴェルの3つの歌曲「シエヘラザード」を歌いました。
松野友美さんと小寺智弘さんはピアノ・デュオ。オペラ、バレエ、オーケストラ音楽まで、あらゆるジャンルの楽曲を手がけたフランスのF・プーランクの「シテール島への船出」などを演奏。
旅の終わりはスペイン。柳川真理子さんと南亜貴子さんが2台のピアノで色彩豊かなM・d・ファリャやI・アルベニスの作品を演奏し、ヨーロッパの旅を締めくくりました。